

北海道花き振興計画(案)の概要

- 【目的】 本道の花き産業の持続的な発展と花きを活用した道民の豊かで健康な暮らしの実現
- 【根拠】 「花きの振興に関する法律」「花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針」
「北海道花きの振興に関する条例」
- 【期間】 令和3年度～7年度までの5か年間、「北海道農業・農村推進振興計画」との整合性を考慮
目標年度は令和12年度

第1 花き産業及び花きの文化の振興に関する方針

1 本道の花きをめぐる現状と課題

- 昭和40年代以降の水田転作を契機に拡大し、冷涼な気候を活かした夏の切花産地(H30年全国4位)として、花色の鮮やかさ、日持ちの良さで高評価
- 道産花きの大部分を占める切り花は、7～9月に年間の7割を出荷。出荷量の7割を道外に移出し、その輸送手段は航空便が3割、トラックが7割
- 需要の減退、高齢化や労働力不足、コストの高止まり等から作付面積や農家戸数は減少傾向。近年、農業産出額は切り花が微増、鉢ものは横ばい、花壇苗は減少し、花き全体では29年以降130億円を維持
- 自然災害や温暖化等のリスクに対応した安定生産、担い手と労働力の確保(機械化が困難)、省力化、流通の効率化、生産・流通・販売の各段階における品質保持などが必要
- 冠婚葬祭など業務用需要に加え日常使いの増加、花き文化の振興による消費拡大が必要

区 分	H12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年
作付面積(ha)	1,228	1,002	747	777	771	794	759
切り花類	700	629	567	494	481	481	463
鉢もの類	34	22	24	19	16	17	17
花壇用苗もの類	50	44	34	31	29	28	28
農業産出額(億円)	145	141	126	122	118	134	131
切り花類	96	106	96	96	90	107	102
鉢もの類	15	12	15	15	15	14	17
花壇用苗もの類	11	12	9	5	5	3	3
花き販売農家戸数	786	814	713	542	—	—	—

資料:農林水産省「生産農業所得統計」、「花き生産出荷統計」、「農林業センサス」、北海道農政部「花き産業振興総合調査」

注:花き販売農家戸数=花き単一経営+準単一経営

2 花き産業及び花きの文化の振興の基本的な考え方

本道の花き産業の持続的な発展と花きの文化の振興が図られるよう、次の事項を基本として、生産者や関係団体、市町村と連携した取組を推進

- (1)高品質な花きの安定生産と経営安定
- (2)日持ち性を向上させる流通の高度化と輸送の効率化
- (3)道民の道産花きへの理解醸成と活用の促進、花きの文化の振興による需要拡大

第2 花き産業及び花きの文化の振興に関する方策

1 高品質な花きの安定生産と経営安定

○ 消費者・実需ニーズに対応した高品質花きの安定生産

高収益品目・品種の選定と導入、技術の導入(暑熱対策、SDGsへの配慮、スマート農業など省力化・省エネ栽培、長期出荷)、ホームユース向け生産の推進、機械・施設の整備

※ ホームユース向け生産:最初から家庭に飾る用途に特化して、コンパクトな規格や色のバリエーション豊富な花を、効率よく、長期的に安定供給する生産

○ 担い手の育成・確保と花き生産者の経営安定

新規就農者のサポート体制整備や技術習得研修の活用、法人化や企業との連携推進による担い手の育成・確保、担い手を支える雇用人材の確保、収入保険等セーフティネットへの加入促進

2 流通の高度化

○ 花きの鮮度や品質の保持に向けた流通の高度化

生産・流通・販売の各段階における鮮度・品質保持技術の普及、集出荷施設等の整備

○ コスト低減に向けた輸送の効率化

○ 道産花きの輸出に向けた検討

3 試験研究及び技術普及の推進

○ 高収益品目・品種の選定

生産性、日持ち性など市場性の高い品目・品種の選定・普及

○ 高品質化と生産性向上のための栽培技術の開発・普及

暑熱対策、開花調節、日持ち性向上、長期出荷、貯蔵管理、鮮度保持技術等の開発・普及

○ 多様なニーズに対応した栽培技術の開発・普及

ホームユース向けに対応した多収性・均一性の向上や出荷ロス低減技術等の開発・普及

4 道産花きの需要の拡大

○ 道民の道産花き・産地への理解の醸成と花のある暮らしの提案

小売り段階での産地表示、花のある暮らしの提案ロゴ
ほっかいどうプラスワン
『HOKKAIDO+1 毎日の生活にお花をプラス』の普及や「北海道花の日(8月7日)」による道産花きのPR、SNSの活用等情報提供などによる道産花きへの道民理解の醸成と日常使いの推進



○ 花き関係者が連携する道産花きの評価向上の取組、販路の拡大

テーブルフラワーなどの身近な花きの楽しみ方の普及や新たな販売手法(サブスクリプション等)の展開、需要期間の延長(母の日→月)などによる需要の拡大

5 花きの文化の振興

○ 道産花きを活用した花きの文化の振興、「花育」、道民の花のある豊かな暮らしの実現

第3 花きの生産目標

1 農業産出額の目標

区分	平成30年度 (現状)	令和12年度 (目標)	現状対比
花き合計	131 億円	137 億円	105 %
切り花類	102 億円	108 億円	106 %
鉢もの類	17 億円	17 億円	100 %
花壇用苗もの類	3 億円	3 億円	100 %

※合計には、球根類、花木類、芝を含む。

2 花きの種類別振興方針

切り花類(カーネーション、スターチス、ゆり類、トルコギキョウ、デルフィニウム、きく)鉢もの類・花壇用苗もの類の種類別の振興方針を記載

第4 目標とする花き農業経営の指標

品目ごとの10アール当たり収量及び労働時間の目標を提示し、効率的かつ安定的な経営として花き専業経営を設定